



## 手指衛生遵守向上への 取り組み



地方独立行政法人大阪市民病院機構  
大阪府立十三市民病院  
ICT&感染対策実務委員会

### 病院の概要と背景

- 病院のタイプ  
大阪市内北部に位置する、市立の総合病院  
入院基本料 10:1
- 病床数:263床  
一般病床 224床 結核病床39床
- 問題となっている感染症  
MRSA
- 感染リスク:  
高齢患者が多い  
施設からの受け入れが多い  
(特養・老健)



## 目的と目標(ゴール)

### 《目的》

- ・正しい手指衛生のタイミングを理解し実施することで  
病院内での感染予防に努める

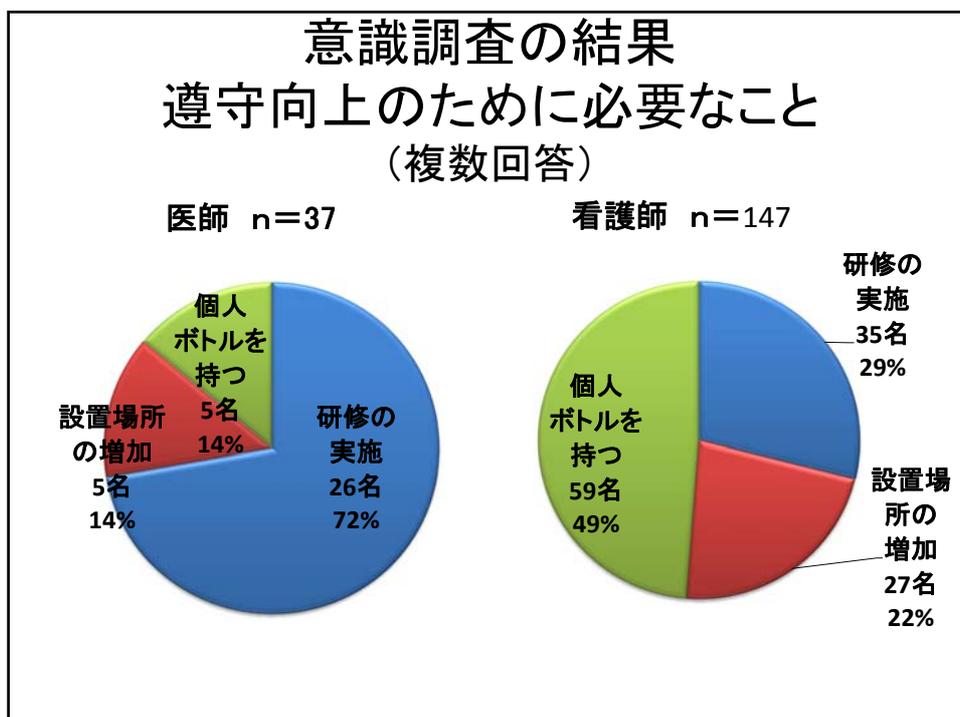
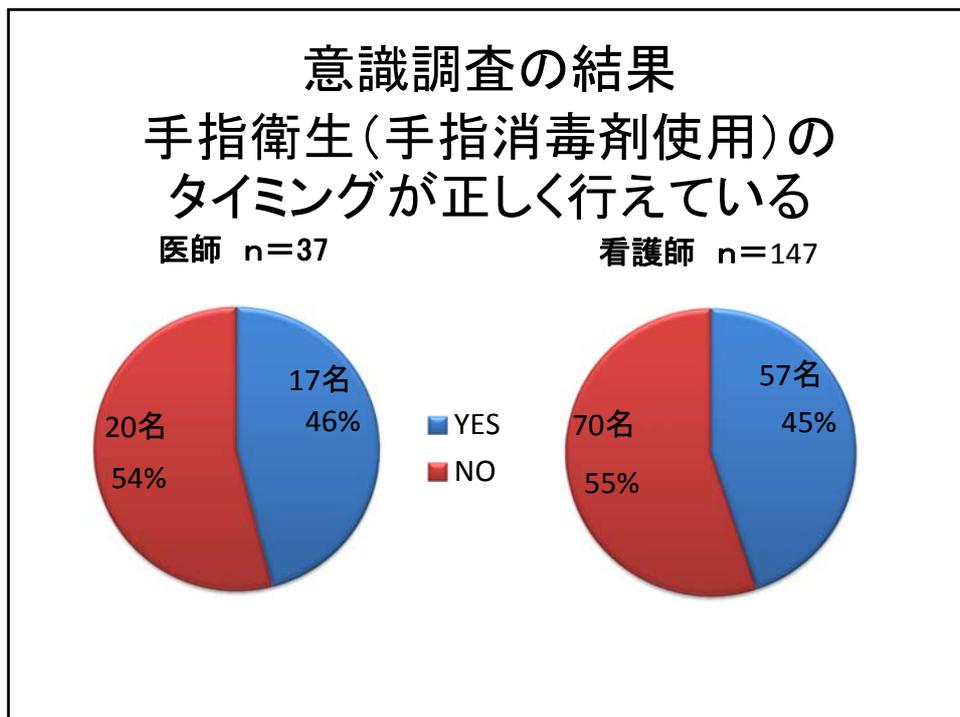
### 《目標》

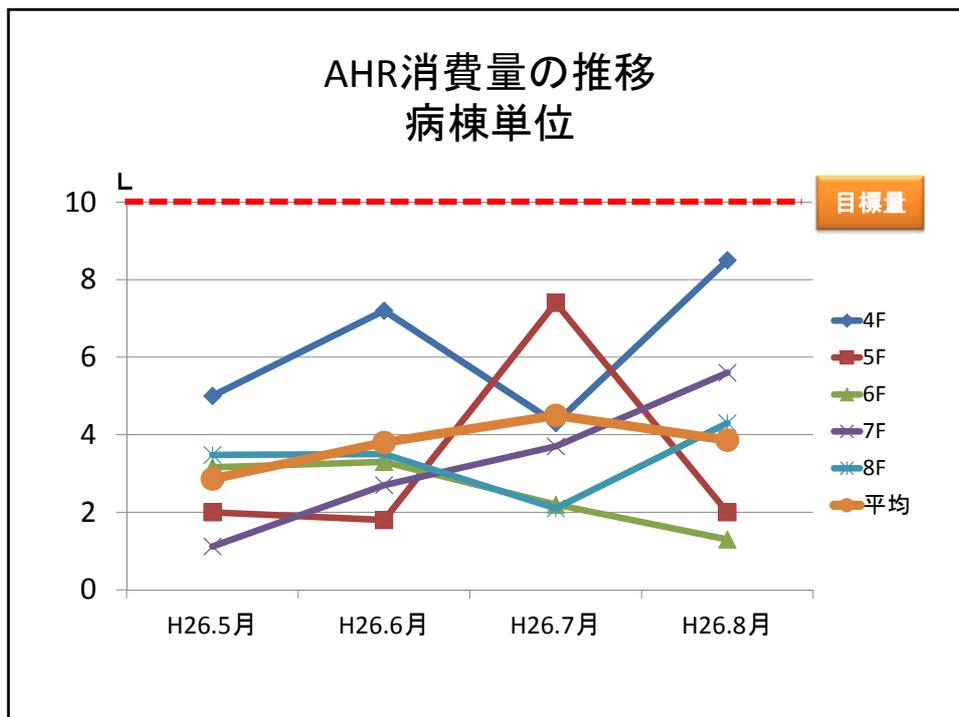
- ・手指消毒剤の使用量：**10L**/1,000Beds/Day
- ・正しいタイミングでの手指衛生を習得する

## 1期:介入の概要

介入名称	実施時期	内容
現状把握と対策	H26.6.1～8.31	リンクナースを中心に病棟毎での取り組み (個人ボトル・ポシェットの配布)
意識調査	H26.7.28～8.12	医師・看護師へ手指衛生に関する意識調査







## 中間発表での課題

- ・主観的なコメントばかり、客観的データがない  
⇒改善の必然性が伝わらない  
行動変容は困難
- ・タイミングが理解されていない
- ・消費量が減少している病棟に対して、リンク  
ナースに適切な指導が必要

## 2期:介入の概要

介入名称	実施時期	内容
観察評価	H26.9～12	・iPadを用いた観察評価の開始 5つのタイミングの再周知と確認 結果のフィードバックとタイミングの確認
研修	H26.9～10 H26.11 H26.12	・医師対象:手指衛生研修の実施 ・ヘルパー対象(第二回)の実施 ・看護師(新入職者・転入者)対象: DVD研修
環境改善	H26.10 H26.11	・皮膚保護剤(Protect X2)の導入 ・軽量サイズの消毒剤の導入
その他	H26.12～	・手指衛生向上サポーターの配置

## リンクナースだけではありません 皆で取り組みました！！



## 手指衛生向上サポーター

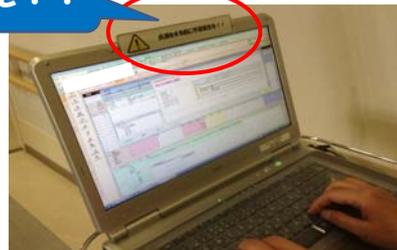


院内研修の「感染管理専門コース応用編」修了者が手指衛生向上サポーターとしてリンクナースの補佐役を担っています

## 啓発方法①



点滴をする前に手指消毒を！！



## 啓発方法②

### 院内LANメールでの周知

現在当院の傾向は…  
**2. 清潔／無菌操作の前・5. 患者周辺の物品に触れた後**が忘れやすい場面となっております。  
 点滴のミキシング時、ルート確保時、ヘッドサイドに行かれる際にも意識して実施いただきますようお願いいたします。

- 1 患者に触れる前
- 2 清潔／無菌操作の前
- 3 体液に曝露された可能性のある場合
- 4 患者に触れた後
- 5 患者周辺の物品に触れた後

### ICT新聞の発行

ICT新聞号外  
 手指消毒薬払い出し量及び使用量状況中間報告Part2 2014-号外②

1患者1日あたりの手指消毒剤の使用量が多い病棟 (H26年5月～10月) = 払い出し量からの計算

過去最高記録を達成中！

全病棟平均8.95ml

10月の結果では4Fと5F病棟が目標の10mlを達成しました。その他の病棟もぐんぐん伸びています。

手指消毒薬の払い出しが多い病棟 (H26年5月～10月)

ICN

## 啓発方法③

### 動画のチェック

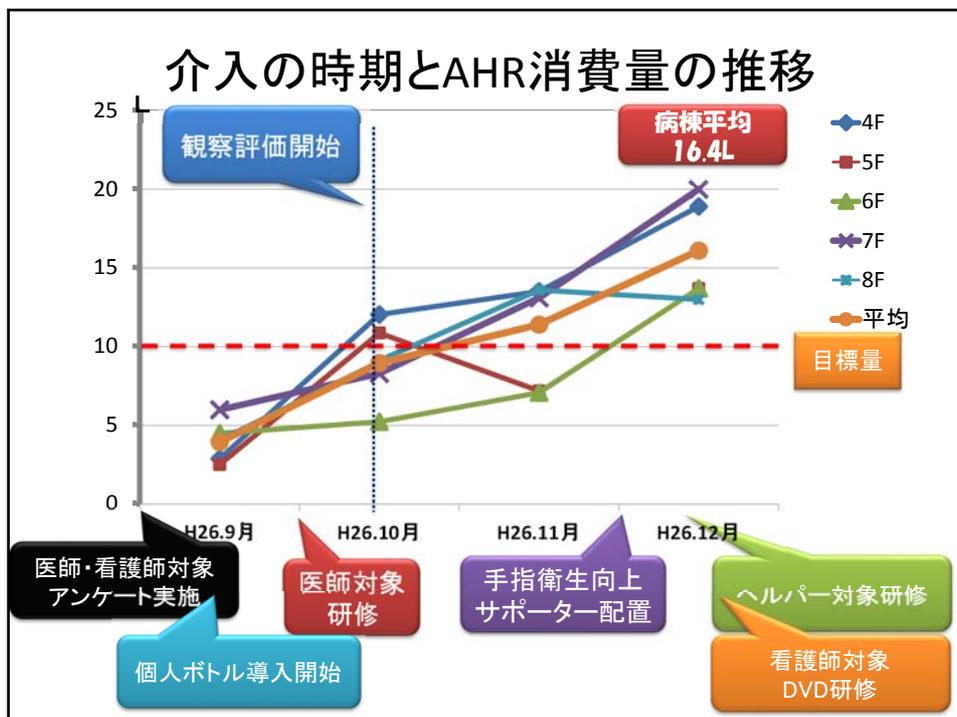


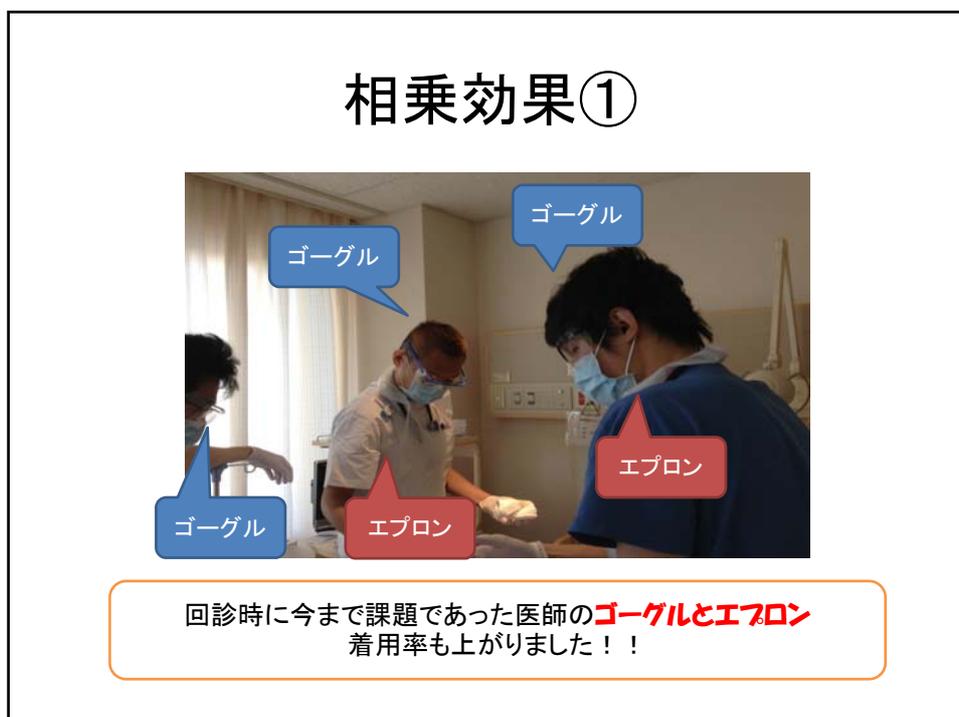
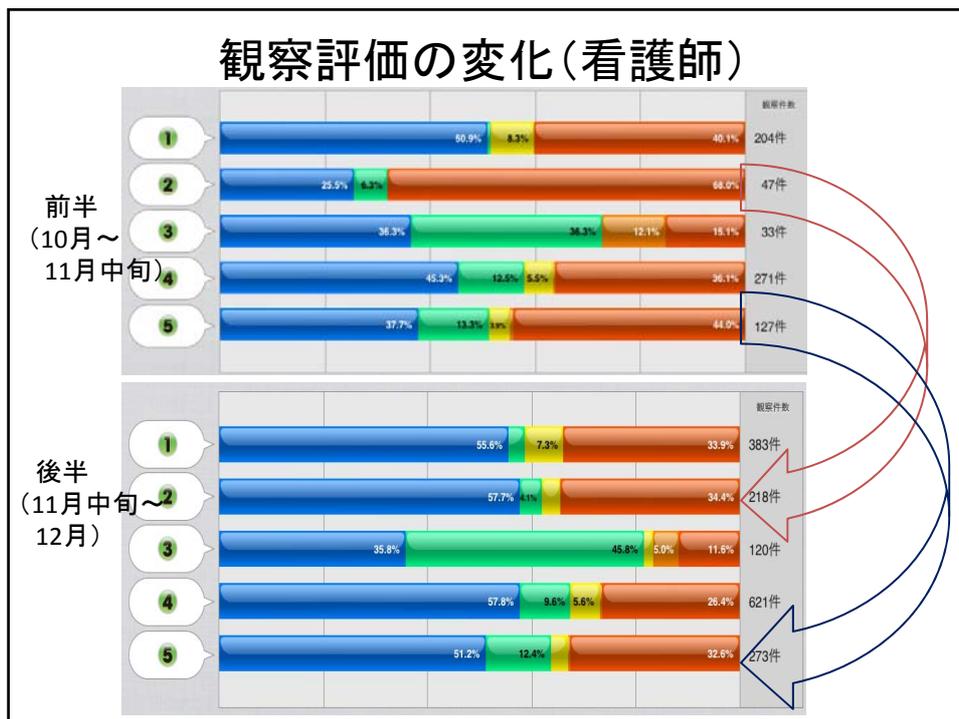
## 啓発方法④

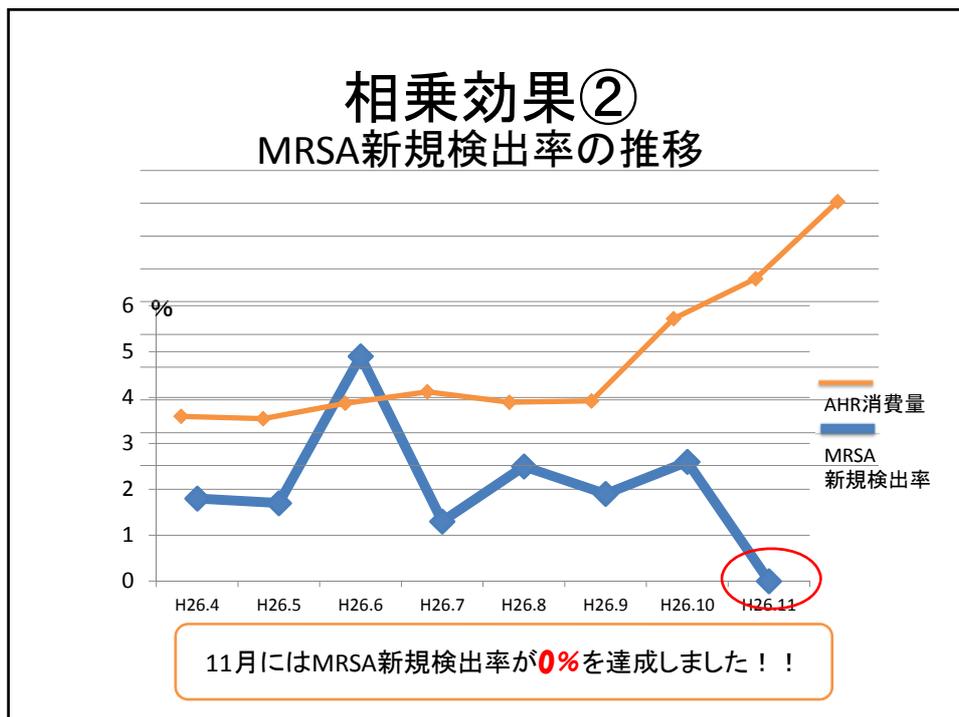
患者がいないエリア限定の取り組み



## 介入の時期とAHR消費量の推移







## まとめ

- ・今回の取り組みでは、全病棟が目標の10Lに到達し、平均は16.4Lであった。
- ・質的評価を行うことは、弱点を把握し、正しいタイミングでの手指衛生向上へとつながった。
- ・今回の取り組みは、PPE着用の向上にもつながり、意識向上に影響したと考えられる。
- ・手指衛生遵守状況には個人差があり、今後も継続した啓発が必要である。

